

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	第22回国際植物生長物質会議 (22nd International Plant Growth Substances Association (IPGSA) conference (Victoria College on the campus of the University of Toronto,カナダ)
演題名	Analysis of tissue-specific gene expression and hormone biosynthesis during tissue-reunion process in incised Arabidopsis flowering stem.
発表者	Miyuki Nakanowatari[1]※, Kentaro Ogura[2]※, Maasa Banse[2]※, <u>Keita Matsuoka[2]</u> , <u>Emi Yumoto[2]</u> , <u>Takao Yokota[2]</u> , <u>Hisakazu Yamane[2]</u> , Shinobu Satoh[3], <u>○Masashi Asahina[1],[2]</u> . (植物生理学研究室) [1]: Grad. Sch. Sci. & Eng., Teikyo Univ. [2]: Dept. Biosci, Teikyo Univ. [3]: Life & Environ Sci., Univ. Tsukuba.
内容	IPGSAは、植物ホルモン・植物生長調節物質に関する国際研究集会であり、3年ごとに開催されている。今回はカナダ・トロント大学にて開催された。ポスター発表では、本事業で整備されたレーザーマイクロダイセクション装置によって得られた遺伝子発現解析の成果を中心に報告した。また、シロイヌナズナ切断花茎の組織癒合過程におけるオーキシン・ジャスモン酸などの植物ホルモンの変動についても報告した。本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、「科研費若手B」による支援を受けて行ったものであり、本研究室の卒研究生、院生、博士研究員が中心的役割を果たした。
関連画像	 <p>学会オーガナイザーProf.Eiji Nambara (University of Toronto) 、 Silver Medal を受賞されたProf.Sean Cutler (University of California, Riverside) と撮影。</p>